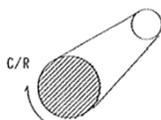


～ベルトの基礎知識編 Vol.3～ ■最近交換需要が増えてきている、サーペンタイン方式とは？■

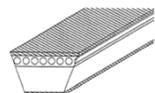
1970年代

1970年代のベルト使用レイアウトは、Vベルトが主流で主に正掛レイアウトで使用されておりました。ベルトの関しても消耗品・交換部品という考え方が一般的でありました。

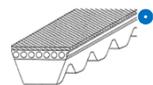
レイアウト
イメージ



代表ベルト
RAF



RPF

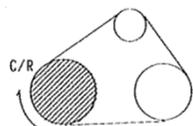


当時は、ベルトに対する
負荷も現在ほど大きくは
ありませんでした。

1980年代

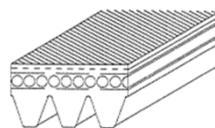
この頃よりベルトに対しての要求レベルが高まるとともに、小プーリー化、長寿命化のニーズを受け、従来のVベルト形状ではなく、Vリブ化が主流となりました。

レイアウト
イメージ



代表的なベルト

リブエース・エコ

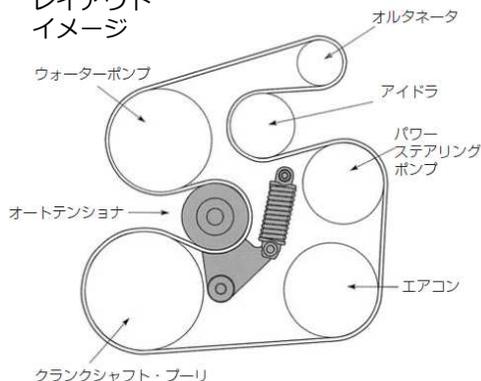


形状もずいぶんスリムに
なりました。

1990年代～

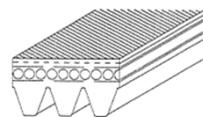
Vリブドベルトの長寿命化の実現と、更なるエンジンルームの省スペース化の要求から、1つのベルトですべての補機を駆動するサーペンタインレイアウトが増え、今日では主流のレイアウトとなっております。

レイアウト
イメージ



代表的なベルト

リブエース・エコ
リブエース・エコ「T」
リブエース・エコ「HT」



要求が多様化しベルトは更に薄く、屈曲性の良い長寿命のものや特殊心線を用いるものなど、ニーズに合わせた仕様を開発しております。品質のバンドー！ならでは、環境に優しく耐熱・耐寒性に優れたEPDMゴムを採用した最新仕様を、いち早く優良市場に展開しております。